西日本製品工業協会主催　新技術セミナー

平成9年2月26日、㈳西日本製品工業協会会議室で、新技術セミナーが開催されました。この新技術セミナーは、プラスチックに関する勉強会で月に一度の割合で、機械メーカー、材料メーカーや周辺機器メーカーおよび各種技術コンサルタント等から講師を招き開かれています。

今回は当社の営業技術課長北川和昭が講師として招かれ『注目される成形技術』をテーマとして3時間にわたり講演をさせていただきました。下記にその概要について簡単にご紹介いたします。

●お客様が求めている最近の主なテーマ●

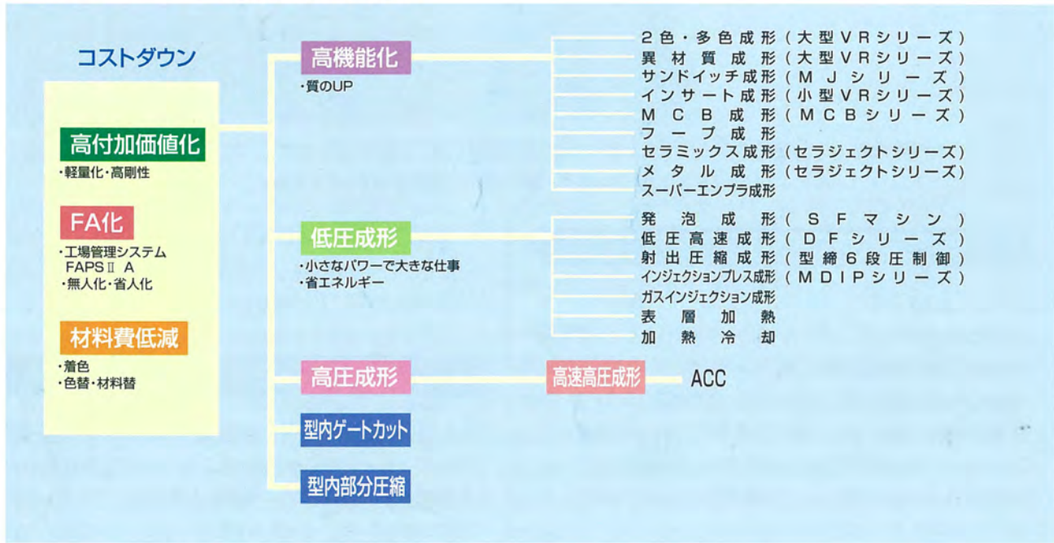
その1　コストダウン……薄肉化、ハイサイクル化、FA化、ハイブリット化等

その2　品質の向上 ……ヒケ・ソリ等の解消や高転写性等の向上

その3　高付加価値 ……他社との差別化ができる新製品の開発等

上記のテーマを解決する方法として、従来の成形法とは違った成形技術が求められており、まとめますと下表の通りとなります。

注目される成形技術



今回のセミナーを通じ、ユーザーの皆様がいかに新しい技術を求めていらっしゃるか痛感致しました。今後もあらゆる機会を通して新技術の情報発信を行っていく所存です。

株式會社 名機製作所

本社・工場　〒474　愛知県大府市北崎町大根2
☎(0562)48-2111㈹　FAX(0562)47-2316
東京支店　〒100　東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル)
☎(03)3212-7731㈹　FAX(03)3212-7730
関東支店　〒362　埼玉県上尾市大字平塚字西原840-1
☎(048)776-3811㈹　FAX(048)776-3815
中部支店　〒474　愛知県大府市北崎町大根2
☎(0562)47-2391㈹　FAX(0562)47-2395
大阪支店　〒564　大阪府吹田市南吹田3-4-32
☎(06)386-2151㈹　FAX (06)386-0932
足利営業所　〒329-42　栃木県足利市迫間町字西浦445
☎(0284)91-0816㈹　FAX(0284)91-0044
厚木営業所　〒243-02　神奈川県厚木市飯山2120-11
☎(0462)42-0493㈹　FAX(0462)42-2046
静岡営業所　〒422　静岡県静岡市敷地2-22-23
☎(054)238-0826㈹　FAX(054)238-0827
北陸営業所　〒933　富山県高岡市井口本江494
☎(0766)24-1012㈹　FAX(0766)24-1014
広島営業所　〒734　広島県広島市南区東本浦町11-4
☎(082)283-7941㈹　FAX(082)283-7948
九州営業所　〒816　福岡県大野城市大城1-24-1
☎(092)503-5882㈹　FAX(092)503-5890

発行責任者　大崎光利
'97. 5. 2500K

MEIKI NEWS

1997年5月発行　No.155
名機ニュース

世界の規準として

特集　ISO9001認証取得

MCシリーズ内覧会を終えて

'97JPCAショー出展のお知らせ

西日本新技術セミナー開催報告

MEIKI

●地球にやさしいプラスチック文化の創造-私たちのテーマです。

ISO9001 認証取得

JQA-1645

当社はこの度、品質管理の国際規格であるISO(International Organization for Standardization)9001の認証をJQA(日本品質保証機構)で取得しました。

登録範囲
射出成形機及びプレス機の設計・開発・製造及び付帯サービス
(保守・点検・修理)

認証機関
㈶日本品質保証機構(JQA)

認証取得日
1997年3月14日

認証取得に向けて当社は次の「品質基本方針」を徹底いたしました。

顧客第一主義と創造に徹し
私達は……

- 良い機械を設計します。
- 良い仕事をして次工程へ送ります。
- 良い品を購入します。
- 再発防止対策を徹底して行います。

この方針を中心に品質マニュアルを制定し、従来より施行していた規程、規準、手順書、要領書の整備とシステム再構築により、将来に向けて品質のより安定した製品を創り出す体制を整えました。当社の品質をバックアップしている全システムの中で、主として製品と関係あるシステムを次のフロー図に表します。

フロー図

このシステムの維持向上は「品質システムの見直し」「内部品質監査」を通じて実施していきます。次にISO9001認証取得に際し、当社ではシステムのグレードアップと文書化を実施しましたが、その一部をご紹介させていただきます。

1. 新商品の品質保証

新商品を上市するに際し、テスト基準に基づいて基本テストおよび耐久テストを実施し、その結果を技術担当課長、技術部長の審査後、技術会議にて全社各部門の承認を得るシステムから、今回は更に各工程(企画-設計-手配-加工-組立-テスト-検査-量産試作)において、各部門の専門家で構成されるDR(Design Review)のQM(Quality Management)チームが、審査するシステムとしました。この結果により品質の安定した製品をご提供させていただきます。

2. 製品のトレーサビリティ

当社の製品は、製造品番、部品番号、図面番号および必要に応じてシリアル番号によってトレーサビリティを確保していましたが、製造工程の各段階で識別し、トレーサビリティを確保するようシステム化しました。

3. 計測器の校正とトレーサビリティ

従来は重要な計測器のみを公的機関につながる外部機関へ校正を定期的に依頼していましたが、今回は当社が保有する管理内計測器のすべて(2,500個)を対象として公的機関へのトレーサビリティを確立した校正システムとしました。このシステムに基づいてテスト用および検査用計測器を定期的に校正することにより、すべての計測値が世界に通じるデーターとしました。

4. ノウハウの文書化

受注-設計-発注-加工-受入検査-組立-調整-検査-出荷-据付立会-アフターサービスに至る各工程において、熟練者のノウハウを活かして、品質の良い機械をお届けしていました。今回、この熟練者のノウハウを手順書、チェックシート、帳票などの文書にまとめ、作業者が一定のレベル以上の仕事ができるシステムにしました。さらに各作業における資格の認定を行い資格認定された作業者により常に安定した製品をご提供できる体制にしました。

この度、お陰げをもちまして当社もISO9001認証取得できました。これを機会に皆様の期待に添う製品を開発すると共に、より品質の安定した製品をお届けいたす所存でございます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

MC SERIES

中部地区
新型射出成形機MCシリーズ内覧会

▶ M-100C-DM

平成9年2月7日(金)・8日(土)両日の午後1時～4時30分、本社第2技術センターにおいて、新型射出成形機MCシリーズ内覧展示会を開催いたしました。MC機は、先にIPF'96において初めてご紹介いたしましたが、中部地区お客様の「IPF'96へ出掛けて、この目で実機を見たかったのだが、仕事が忙しくて、とても千葉の幕張メッセまで足を運ぶ余裕が無かったよ。」という声が多く、そうしたお客様に是非ご覧頂きたいとの強い思いから、準備を進めて参りました。内覧会当日の7日、8日は大変天候にも恵まれ、忙しい中400名を超える多くのお客様にご来場頂きました。この紙面をおかりしまして改めて、お礼申し上げます。ご来場されたお客様は、当社新型MC機が皆様のご期待に応えられる成形機であることを実感されたものと確信しております。展示機としては、M-50C-DM、M-70C-TS、M-100C-DM、M-200C-DM、M-450CL-DM及びM-850CL-DMの6機種を用意させていただきました。各々の見所として

1.M-50C-DMではドライ運転にて、ハイサイクルを体感していただきました。

2.M-70C-TSでは、歯車成形の実演を行い、熱硬化性樹脂の精密成形と、型内ゲートカットにより中心穴を奇麗に仕上げた成形品をご覧いただきました。

3.M-100C-DMでは、フレネルレンズの成形実演を行い、射出圧縮機能によりヒケ、ソリ、歪みの無いものを成形し、型内ゲートカットをしました。

4.M-200C-DMではA4ファイル箱の成形実演を行い、薄肉大投影面積の製品を射出プレスにて成形しました。

5.M-450CL-DMでは、新型締機構による省スペース化およびハイサイクル化を実現しました。

6.M-850CL-DMでは、新型締機構による省スペース化と、スムーズな型開閉を実感されたことと思います。

両日とも、2時～3時の1時間は技術講演会として ❶「新型MC機ご紹介」❷「射出プレス成形と射圧縮成形」❸「ゲートカット成形」をメインテーマに実例を中心にご説明させていただきました。内覧会でM-200C-DMにて成形実演しました射出プレス成形は、射出圧縮成形の中でも投影面積が大きく、薄肉の成形品に適している成形法として特に熱い視線が集まりました。

講演会終了後は、会場内に展示の成形サンプルを熱心にご覧になるお客様も多く、私共もご紹介させて頂いた甲斐がございました。2日間の午後だけという限られた短い時間での開催の為、まだまだご都合がつかず、ご覧頂けなかったお客様も多いかと存じます。新型MC機、講演内容、新技術につきましてのご質問等がございましたら担当営業員までお気軽に声を掛けて下されば幸いでございます。直ちに資料をお持ちしご説明させて頂きますのでよろしくお願い申し上げます。

「JPCAショー'97」に出展

JPCAショーは、エレクトロニクス化に必要不可欠で製品の複合化・融合化が実現できる機能集積型製品でありますプリント回路に関する総合資機材展で、近未来の技術を一堂に会することができる国内随一の場として、国内はもとより海外のプリント回路関係者からも極めて高い関心が寄せられております。

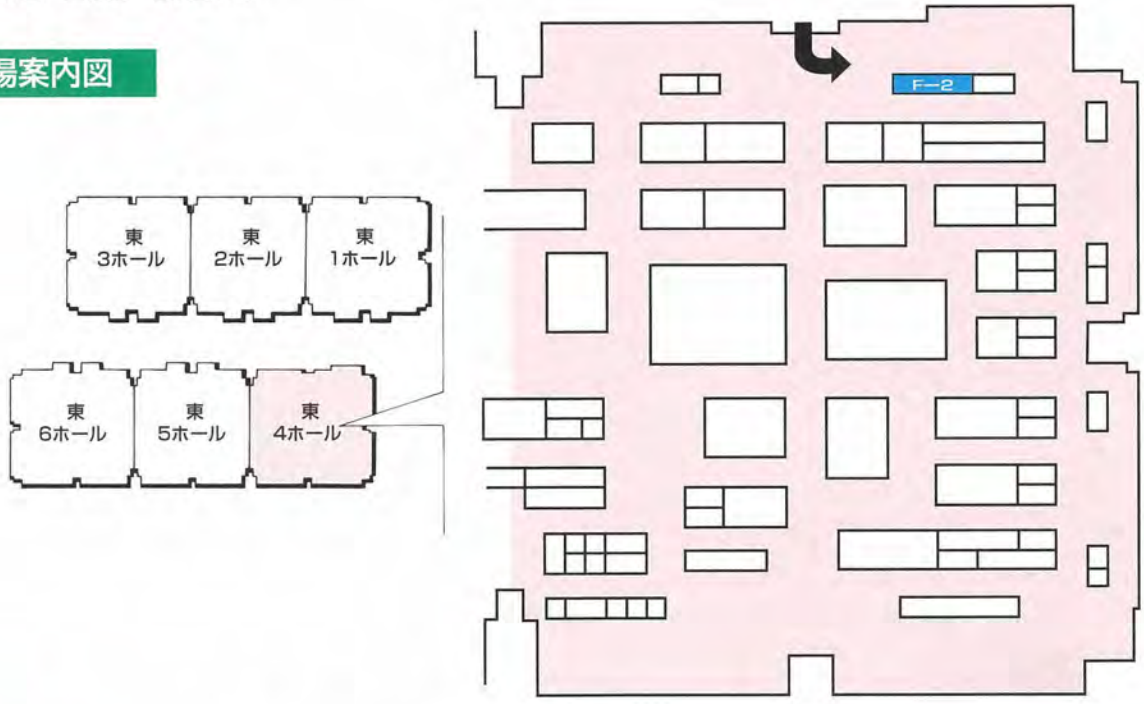
当社は、本ショーにプリント基板の張り合せマシンとして新たに開発しましたバキューム・ラバー式・ホットプレス「MVRP-610」と、昨年発売を開始しましたラミネータ「MVLP-500」の2機種を出品致します。ご多忙とは存じますが、是非ご来場賜りますようご案内申し上げます。

東京ビッグサイト
TOKYO BIG SIGHT

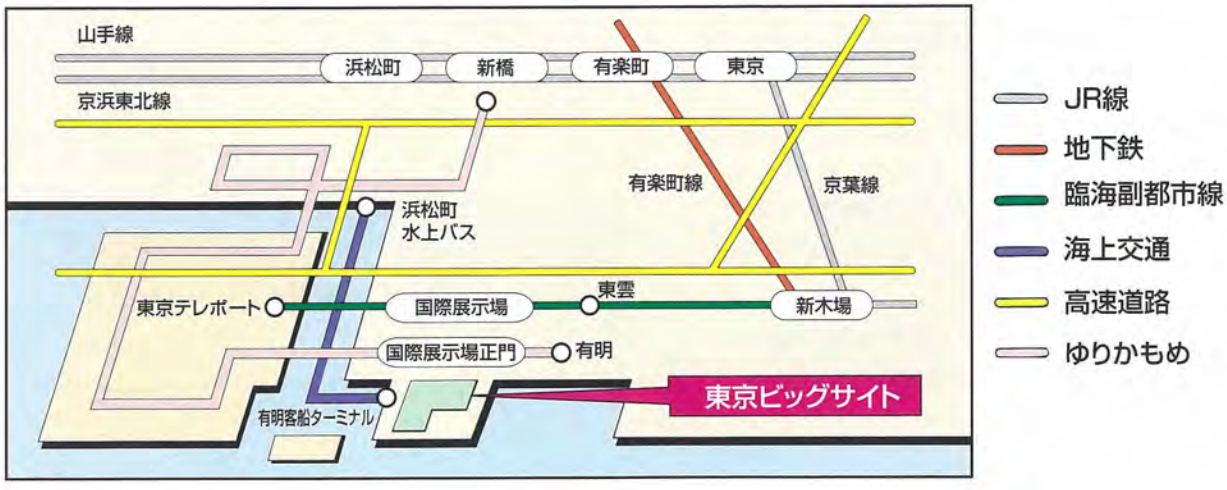
東京ビッグサイト(東京国際展示場)

当社小間　東4ホール NO. F−2

会場案内図



会期　1997年6月4日(水)〜6月6日(金)
AM 10:00〜PM 5:00(最終日 PM 4:00終了)

入場無料

交通のご案内